



SDGs
未来都市 入間市



DX Acceleration
Local Lab
いるまDX推進ラボ



SDGs×DX実践事例発表会 「いるま官民共創まちづくりシンポジウム」 ～つながりで創る入間の未来～

2024年11月5日
入間市企画部企画課

入間市について 基本情報

- 人口は約14万5千人
- 狭山茶の主産地



入間市マスコットキャラクター「いるティー」

「色は静岡、香りは宇治よ、
味は狭山でとどめさす」

- 令和4年5月SDGs未来都市に選定



入間万燈まつり

入間市について 企業立地の状況

- 県内有数の大型商業施設が立地しているほか、大手企業の食品工場も多く誘致
- 超微細加工技術等によるものづくり集団「チーム入間」や、地域未来牽引企業など技術力の高い企業が集積
- 未来を見据えた多様なニーズに対応する新産業団地、「SDGs産業団地」の創出



三井アウトレットパーク 入間



株式会社 中村屋 武蔵工場



青梅IC北側地域 新産業団地構想



地域未来牽引企業

- 株式会社industia (生産用機械器具製造業)
- カネパッケージ株式会社 (パルプ・紙・紙加工品製造業)
- 首都圏アグリファーム株式会社 (農業)
- 株式会社テラダイ (非鉄金属製造業)
- 株式会社小金井精機製作所 (輸送用機械器具製造業)
- 株式会社トコウ (金属製品製造業)
- 株式会社ホレスト (道路貨物運送業)

背景

～入間市の取り組み～

- 入間市は、2030年のSDGs達成に向けて、「Well-being」をキーワードに地域資源を生かした取組が認められ、2022年5月に**SDGs未来都市**として選定。
- 官民共創により、**環境**、**社会**、**経済**の3側面のバランスが取れたWell-beingなまちづくりを推進している。



経済

健康・食品・医療産業の創出による
「**スマートヘルス・シティ**」の実現



青い部分は、「工業系土地利用推進エリア」
中土地利用規制図の一部を掲載

SDGs産業団地



スマート農業

社会

リハビリ交通による健康寿命延伸
「**ウェルネス・シティ**」の実現



デマンド交通



リハカート

環境

公民連携の地域新電力による
「**ゼロカーボン・シティ**」の実現



ゼロカーボン協議会



食品ロス削減



スタートアップ
との連携

SDGs官民連携事例① 入間市SDGs応援自動販売機



- 2023年12月20日、入間市はボランティア・ベンダー協会、株式会社八洋の3者で「入間市SDGs応援自動販売機設置に関する協定」を締結。
- 自動販売機設置者、飲料メーカー、株式会社八洋の3者が飲料1本の売上につき1円ずつの計3円を、市のSDGs推進に資する取組に寄附する募金型自動販売機を設置する内容となっている。



協定締結式の様子



入間市SDGs応援自動販売機第1号（設置者：株式会社エスケイメカニクス様）

- SDGsの達成に向けた取組や普及啓発を行う意欲のある企業、団体等を「入間市SDGsパートナー」として認定し、取組を見える化する宣言制度を2023年12月から募集開始。
- 2024年9月27日現在、計41者の企業・団体等がSDGs取組宣言をし、パートナーに参加している。
- また、パートナーには、市内におけるSDGs推進の機運醸成を目的に構成したプラットフォーム「いるまSDGsラボ」にも参加いただいている。



入間市SDGsパートナー第1弾
認定の様子
(2024年4月11日 入間市
SDGsパートナー証贈呈式)



入間市SDGs
パートナー証



行政手続き・防災・福祉・教育・農業など
地域課題に応じたプロジェクトを随時追加

R5プロジェクト

R5.4.4 「いるまDX推進ラボ」が、地域DX推進ラボ第1弾選定地域に選出
R5.6.28 経産省より地域DX推進ラボ選定証授受
R5.7.14 いるまDX推進ラボキックオフシンポジウム開催

- その他
- いるまeスマイルチケット（電子商品券事業）
 - アイデアコンテスト
 - サステイナブルウォーク「いるまいる」
 - DX商談会 など

SDGs未来都市 入間市

入間市商工会
企業・街・暮らし 入間の元気を応援します

入間市工業会
Iruma Manufacturers Association

入間市金融団

JCI
IRUMA

STUDIO SPOBY

入間ガス株式会社

REXEV

入間市ゼロカーボン協議会

地域通貨関連企業

- 令和5年2月1日に導入したEV10台のうち、正面カーポートの2台について、平日日中は公用車として、平日夜間及び土日祝日は市民等が利用できる「EVシェアリング事業」を開始。
- 市役所駐車棟屋上に太陽光発電設備を設置し優先的にEVへ供給。
- 災害等により停電となった場合に、EVを避難所等へ派遣する非常用電源として活用することで、**地域の防災レジリエンス強化**を図っている。

クルマと、ちょうどよい関係を。

平日 PM7:00 ~ 翌 AM7:00、土日祝日は一日中、いつでも OK !




SDGs未来都市 入間市
Well-being City いるま
~健康と幸せを実感できる未来共創都市~





- 入間市ゼロカーボン協議会において協議し、地域企業や金融機関の連携・出資により、令和6年3月13日に「**いるまe-MIRAI株式会社**」が設立された。
- 3月19日には、入間市におけるゼロカーボンシティ実現に向けて、地域課題の解決及び地域循環経済の推進並びに地域の活性化に資する様々な事項を包括的に協働することを目的として、同社と「**脱炭素社会の実現に向けた包括連携協定**」を締結。

設立経緯

- 入間市ゼロカーボン協議会設立
- ▼
- 入間市ゼロカーボン協議会に3つの部会（需要家開拓部会、再生可能エネルギー供給部会、ファイナンス部会）を設置
- ▼
- 市内関係団体や金融機関とともに地域新電力の創出について協議
- ▼
- 地域企業・金融機関の出資により、**「いるまe-MIRAI株式会社」**設立
- ▼
- 市といるまe-MIRAI株式会社において、**「脱炭素社会実現に向けた包括連携協定」**を締結

連携イメージ



連携内容

- ◆ 再生可能エネルギーを中心に据えた地域課題の解決及び地域循環経済の推進並びに地域の活性化に資する事項
- ◆ 再生可能エネルギーの活用及び利用促進に資する事項
- ◆ 省エネルギー化の推進に資する事項
- ◆ 温室効果ガスの排出抑制に資する事項
- ◆ エネルギー支出の地域外への流出抑制に資する事項
- ◆ 「入間市ゼロカーボン協議会」の事業推進に資する事項
- ◆ その他両者で協議の上、協働すべきとした事項

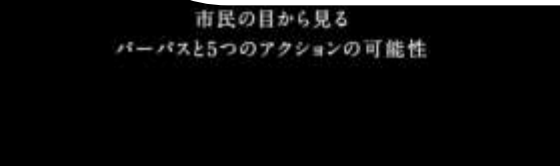


豊かな自然
たくさん
色々な



5つのシンボリックアクションが始まっています

心豊かでいられる、「未来の原風景」を創造し伝承する。



市民の目から見る
パーパスと5つのアクションの可能性



お茶を中心に
コミュニケーションをとっている



地域・行政・企業



入間市 パーパス

🔍 検索

パーパス実現に向けた取組の5つの切り口

5つのシンボリックアクションがはじまっています

心身の豊かさを支える
ウェルビーイング
アクション

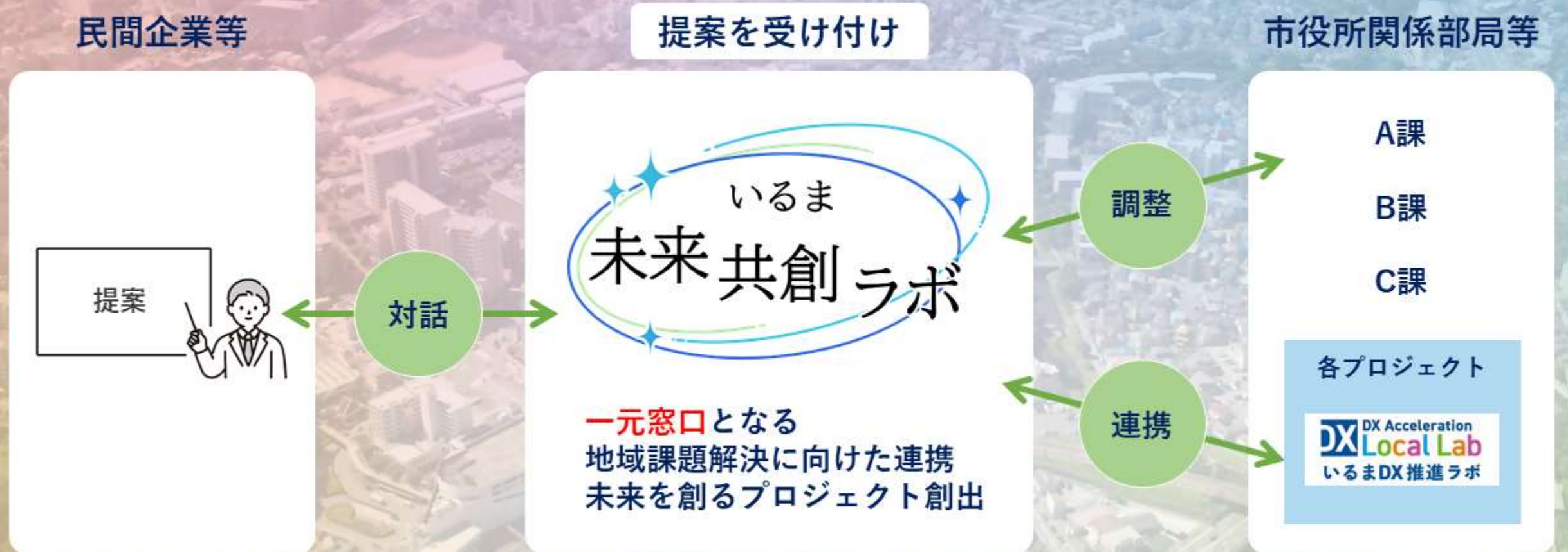
より快適な移動を支える
モビリティ
アクション

文化を守り、創造する
カルチャー
アクション

人とのつながりを力に変える
オープン
アクション

持続可能な入間市のための
サステナブル
アクション

官民共創の一元窓口「いるま未来共創ラボ」





入間市のパーパスに共感する民間企業や団体から
事業提案を広く受け入れ、行政に横展開

**入間市SDGs
パートナー**
(いるまSDGsラボ)



官民でのSDGs達成に向けたパートナー
シップにより、取組を後押し

**DX Acceleration
Local Lab**
いるまDX推進ラボ

市民・企業のDXやGXに向けた
取組を経産省とともにサポート

「いるま官民共創まちづくり シンポジウム」について

- 市民・企業・学校・行政等各主体が連携し、一体となってまちづくりを行っていく機運を醸成することを目的として、**令和6年9月28日（土）**に、「**いるま官民共創まちづくりシンポジウム**」を開催。
- 入間市の目指すまちづくりに関する市長講演をはじめ、基調講演、共創パートナーの事例発表及びパネルディスカッションを通じて、来場者に「**ウェルビーイングとはどういったことか？**」、「**どういった官民の連携が可能か？**」といったことを共に考え、共感してもらえる機会を創出。
- また、市内の小中学生とともにSDGsについて考える機会として、「**いるまSDGs4コマ漫画コンクール**」を実施し、当日に表彰式を開催。



プログラム概要

- 市長講演「**官民連携に力を入れている理由**」
- 基調講演「**DX・官民共創が生み出す地域の未来**」
経済ジャーナリスト/イノベディア代表 内田 裕子氏
- 事例発表/パネルディスカッション
「**eスポーツの可能性**」
入間市スポーツアンバサダー 園部 日向氏

「自分にもできた！SDGsの取組」
未来の子どもたちへの夢プロジェクト参加代表生徒
(藤沢中学校、上藤沢中学校)

「人と地球の健康を創造する観点からウェルビーイングを考える」
株式会社スタジオスポビー代表取締役 夏目 恭行氏
パネルディスカッション「**取組を広めるためにはどうする？**」

- **いるまSDGs4コマ漫画コンクール 表彰式**

展示ブース一覧

リユース品の回収
使わないモノは次の人へ「PASSTOしよう！」
リユース可能な衣類、雑貨類をぜひお持ちください！
ECOMMIT

EV給電の実演 ※当日予約制(各回定員5名/30分)
ほうじ茶づくりの実演 & オリジナルマイボトルワークショップ
SHIMA DAY

エコライフアプリ「SPOBY」特典交換会
エコな移動で脱炭素。入間市のお店でごほうびと交換！
STUDIO SPOBY

eスポーツ体験
世代を超えていつでもだれとでも楽しい時間を共有できる空間の体験

官民連携の相談ブース
市職員による相談ブースを開設。民間事業者のみなさまからのご相談をお待ちしております。

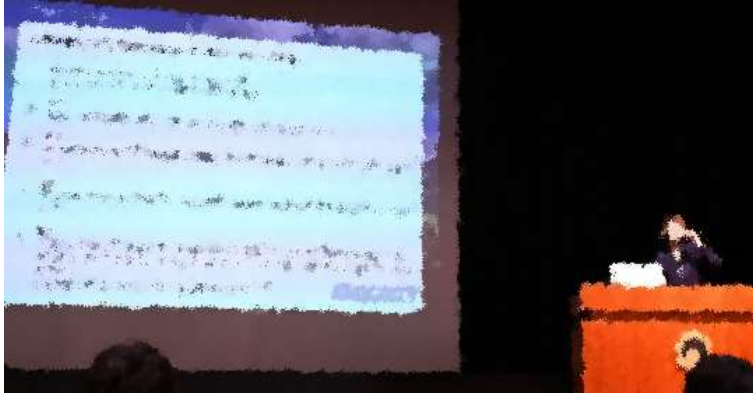
いるまSDGs 4コマ漫画コンクール
いるまSDGs4コマ漫画コンクール 展示

入間市 SDGs宣言の展示



- ◆ 地域の有志の方々（「元気が出るふじさわ未来ネット」）と行政が連携して取り組んだ市民提案型協働事業
- ◆ 藤沢中学校・上藤沢中学校・日々輝学園高等学校の生徒たちと共に、**生徒自らがSDGsを自分事として考え**、未来のこども達に安心して過ごせる社会を提供するための活動を地域に提案した

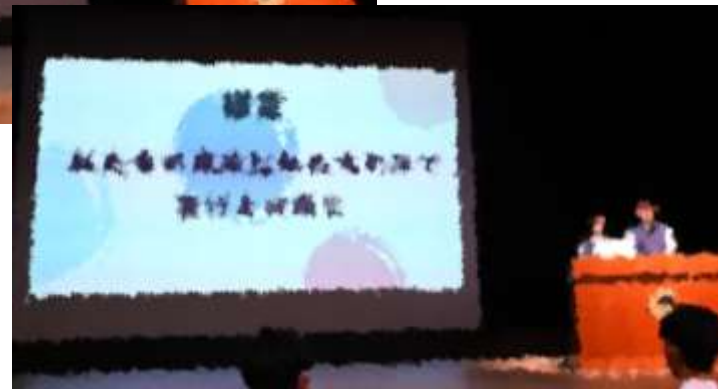
基調講演



パネルディスカッション



事例発表



<今年度も継続中の活動>

- ・感食キャンペーン
- ・資源回収
- ・竹のリサイクル活動
(藤沢地区夏祭り)
- ・紙の資料の電子データ化 など



<地域への提言>

身近でできることを考え、
一人一人が行動していく！

<身近でできること>

例えば...

節電: オフシーズン中はエアコンのコンセントを
抜く
→待機電力を減らせる

1時間以内の外出の場合は、
つけっぱなしの方が良い。

<身近でできること>

例えば...

リサイクル: イオンの回収制度を活用
→ペットボトルがポイントに

食品の保存は、蓋つき容器を使い、
ラップの使用を控える

意見箱廃止



紙からデジタルへ
SDGsの取り組みとして
紙の使用を減らす取り組み

QRコードを読み取る

生徒会新聞 デジタル発行



紙の使用量を減らす
ペーパーレス化!



緑のカーテン



目的…エアコンが
設置されていない
教室に緑のカーテ
ンをかけて、室温
を下げる



給食委員会の取り組み



給食委員で行っている活動

→給食の食べ残しを

減らす取り組み

給食を綺麗に配り切る方法を紹介している



予め6つの塊にする
→班ごとに盛り切る

1班分 1班分 1班分



提言

私たちの未来は私たちの手で
実行と実現を

展示ブース



EV給電の実演 ※当日予約制(各回定員5名/30分)
 ほうじ茶づくりの実演&
 オリジナルマイボトルワークショップ



リユース品の回収
 使わないモノは次の人へ
 「PASSTOLしよう！」
 リユース可能な衣類、雑貨類をぜひお持ちください！

ECOMMIT



エコライフアプリ「SPOBY」特典交換会
 エコな移動で炭炭素。入間市のお店でごほうびと交換！

STUDIO SPOBY

いるまSDGs4コマ漫画コンクール展示

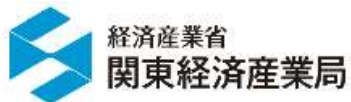


いるまSDGs4コマ漫画コンクール

タイトル	いただきますを世界中に
(ふりがな)	うち の はな
氏名	内野 花
学校名・学年	聖明小学校 5年
該当するSDGsの番号	2
作品に込めた思い (100文字程度)	世界には今日食べるものも明日食べるものもない人がいることを知りました。だから私が当たり前で食べるものを、困らない世界にしたい。そのために私が今できることから始めていこうという思いを込めました。



- 令和4年度、**経済産業省事業「FORWARD」**により、「市民・事業者との共創によるゼロカーボンシティの実現」をテーマとして実証実験を実施。
- 令和5年度より、地域一体となって市民の脱炭素に向けたライフスタイルの転換を促進するため、スマートフォン用アプリ「**SPOBY（スポビー）**」を導入し、「**サステナブルウォーク いるまいる**」を実施。
- 日常生活における移動を、徒歩・自転車に転換することで脱炭素ポイントを貯め、協賛店舗の抽選に参加。楽しみながら行う脱炭素に向けた行動変容を促進し、地域一体となってゼロカーボンシティを目指す。



令和4年度イノベーションの社会実装に向けた地域成長産業共創事業の一環としてスタートアップを募集



- 未来を担う子どもたちがSDGsに関する社会課題を主体的に考え、創作を通じて、自らの意見を効果的に伝える力、社会と繋がる学びや経験を得る機会の創出を目的として実施した。
- また、子どもたちの作品に触れた大人たちがSDGsを考え、行動するきっかけとし、入間市全体のさらなる持続可能なまちづくりの推進をねらった。

いるまSDGs4コマ漫画コンクール表彰式の様子



- 応募総数87作品（小学生38、中学生49）
- うち25作品を表彰
 - （市長賞2、教育長賞2、協賛企業賞6、いるまSDGs賞（入選）15）

- 賞品は、再利用の西川材で製作されたタブレットスタンドなどを用意した。



入間市長賞、入間市教育長賞、協賛企業賞
木製タブレットスタンド



いるまSDGs賞
タッチペン

An aerial photograph of a vast tea plantation in Japan. The tea fields are arranged in neat, rectangular rows, with some sections covered in white plastic mulch. In the background, a range of mountains is visible under a clear blue sky, with Mount Fuji's snow-capped peak prominently featured in the distance. The overall scene is bright and clear, suggesting a sunny day.

ご清聴ありがとうございました

入間市 企画部 企画課